



～地域と共に未来を拓く～

浴風会病院 医療連携ニュース

No59

発行元：浴風会病院 医療連携室 〒168-8535 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
TEL 03-3332-6511(代表) FAX 03-5941-5275



浴風会病院の看護補助は介護福祉士が担う

ケアワーカー長 中村 功

(介護福祉士、社会福祉士、認知症キャラバンメイト)



当院の介護職員は、5病棟 58名が配属されています。(1/31 現在)

一般的に病院の介護職は看護助手として、無資格・女性が多いようですが、当院においては95%のスタッフが介護福祉士などの国家資格を有しています。また、男性介護職員が7割を占めているのも特徴のひとつですが、6割以上が職歴10年以上の経験豊富なスタッフであることも大きな特徴です。

病棟においては看護師と協力し、食事や排せつ・入浴などの生活援助を職務として担っています。病院が他の高齢者施設（特養や老人ホーム）の介護と大きく異なるのは、病院はその役割として治療を目的とし、できるだけ短期間での退院を目指すところにあること、また、自宅との生活に比べると生活行為が単純であることが挙げられましょう。

入院による生活機能面への弊害は、体調不良による活動の不活発が第一に挙げられます。動けない（動かない）ことで心身機能の低下を招きやすく、退院時の障壁ともなっています。こうしたことから、入院前と同じ状態で退院できるよう援助することは介護職の大きな役割です。高齢者は一度機能が低下してしまうと、回復するまでには低下速度の何倍も時間を要します。治療対象の疾患が治癒しても身体の機能低下により退院が困難にならないよう日常的なケアが重要と言えます。そして、何より精神的・心理的なダメージを回避できるよう、介護士はできるだけ明るく、元気にケアすることが求められます。ご家族の力には及びませんが、患者さんの最も身近な存在として頼りにされるような援助を心がけています。

病院における介護福祉士は、疾患や障害に対する認識を踏まえなければならないのは当然としても、目の前の患者さんの様子の変化を捉える目、「いつもと違う」といった観察力も求められていると思います。日常の関わりの中でいかにその感性を高めていくか。病院では看護師と共に様々な研修に参加し、それぞれの病棟で課題を設定し、実践研究としてまとめ、発表会を開催しています。その中から今年度は4A病棟の取り組みを「慢性期医療学会」で発表しました。より質の高い看護・介護を提供できるよう日々研鑽を重ねることも責務のひとつと考えています。

これからも、看護師やリハビリスタッフなど他の専門職と力を合わせ、患者さんが早期に在宅等へ復帰できるよう療養生活を支えていきます。

平成 29 年度 第 2 回 在宅医療介護連携連絡会 開催報告

平成 29 年度第 2 回在宅医療介護連携連絡会を下記の通り開催しました。

- ・日 時 : 平成 30 年 1 月 17 日 (水) 18 : 30 ~ 20 : 30
- ・場 所 : 浴風会 認知症介護研究・研修東京センター 2 階大会議室
- ・対 象 : 在宅療養支援診療所、在宅介護サービス事業所、在宅連携医療機関
- ・テーマ : 在宅療養支援としてのレスパイトケア
- ・参加者 : 44 名
- ・内 容 : 第 1 部 講演 1 : ケア 24 成田代表者 川崎裕彰様
「在宅介護支援としてのレスパイトケア」
講演 2 : 浴風会 南陽園長 百瀬律子様
「浴風会における在宅支援～ショートステイを通じて～」
第 2 部 ワークグループによる意見交換会

今回は「在宅療養支援としてのレスパイトケア」をテーマに、第 1 部として、レスパイトケアを計画される側のケア 24 成田代表者・川崎裕彰様に具体的な事例を踏まえ、レスパイトケアの現状についてご講演をいただきました。続いて、レスパイトケアを実施される側の浴風会南陽園長・百瀬律子様に浴風会における在宅支援をテーマにご講演をいただき、第 2 部のグループ討論へ移りました。グループ討論では活発な意見交換が交わされ、改めて医療と介護の連携の重要性を認識する機会となりました。



【新年 理事長・センター長・病院長 挨拶】

1 月 4 日、毎年恒例の理事長・センター長・病院長から年頭の挨拶がありました。理事長からは改めて心温まる医療の大切さについてお話をいただき、センター長からは病床の高稼働の維持とともに安全・安心の医療に取り組むようお話がありました。また、病院長からは、昨年の職員の頑張りに対する労いの言葉とともに、今年も一致団結して頑張りましょうと激励の言葉をいただきました。



第13回 杉並区の地域リハビリテーションを考える勉強会

主催：杉並区地域リハビリテーション連絡会

平成29年12月14日、「第13回 杉並区の地域リハビリテーションを考える勉強会」が開催されました。今回は、浴風会認知症介護研究・研修センターを会場とし、杉並区の各病院・事業所からの参加がありました。

主な内容は、①山口晴保先生の講義、②連携事例紹介、③グループワークでした。

①群馬大学名誉教授で浴風会認知症介護研究・研修センター・センター長 山口晴保先生の講義では、群馬県での地域リハビリテーション連携システム作り、介護予防や認知症支援に対する取り組みの紹介がありました。特に地域包括ケアシステムにおいては、地域住民が主体となる「自助・互助」の体制作りが必要とのお話がありました。

②連携事例紹介では、浴風会南陽園の介護予防事業、スポーツ施設ヴィム スポーツ アベニューの地域での活動の紹介がありました。

③最後にグループに分かれ、今後の交流、情報交換に向けての顔合わせを行いました。

今後も勉強会などを通して、各病院・事業所間の「顔の見える関係作り」を目指し、杉並区の地域リハビリテーションを考え実践していきたいと考えています。



《浴風会病院 訪問リハビリテーションのご案内》

❖訪問エリア（当院から半径約2km圏内）



杉並区 高井戸西、高井戸東、宮前、上高井戸
浜田山、久我山、下高井戸4・5丁目
世田谷区 北烏山、南烏山
※エリア外については、要相談となります。

「ご自宅や地域に住み続けたい」
「安心して生活したい」を支援します！
スタッフ：理学療法士、作業療法士

❖ご利用者様について（介護保険での訪問となりますので要介護認定を受けている方であればご利用できます）

年齢 平均82歳（65歳～98歳）
性別 男性3割、女性7割
介護度 要支援の方が2割、その他は要介護1～4

❖お問い合わせ先

医療相談室・支援室（代表 03-3332-6511）進藤、村松までお気軽にお問い合わせください。

高齢者を中心に年齢も介護度も幅広い方にご利用いただいております

外来担当医表

平成 30 年 2 月

診療科		月	火	水	木	金	土
初診外来(内科)	午前	八田	館野	秋山	伊藤	当番医	当番医
内科	午前	秋山★ 小出	伊藤院長★ 山岡 中川 渡邊★	八田★ 雨宮★ 小林★	吉田センター長★ 八田★ 坂本★	伊藤院長★ 市岡★ 白井★ 加藤 加藤	
	午後	吉田センター長★ 雨宮 (認知症相談)	青木				
★…神経内科医		鈴木(物忘れ外来)					
神経内科	午前	吉田センター長	袖山				
循環器内科	午後		柴田		小出		
呼吸器内科	午前					中川	
代謝内科(糖尿病)	午後				佐々木		
精神科	午前	梶浦	古田 (認知症相談)	梶浦 (認知症相談)	古田	須貝	
	午後	古田 (認知症相談)	須佐 (認知症相談)	須貝		須貝 (認知症相談・ もの忘れ外来)	
整形外科	午前	宮沢		宮沢		宮沢	
眼科	午前	酒井	酒井	酒井	酒井	酒井	
	午後	酒井 (検査)	酒井 (検査) (第2・第4のみ)	手術日		酒井 (検査)	
歯科	午前	中野	中野		中野	中野	中野 (第1.3のみ)
	午後	中野	中野		中野	中野	

再診予約のある方：予約時間前に再来受付機へ診察券を通して下さい。
初診または再診予約のない方：午前十一時までに初診受付へ直接お越し下さい。

